

# 聴くオフ・ミーティング 報告書

テーマ「杉並区立学校の『給食無償化』を語り合おう！」  
～義務教育での保護者負担や教育費の使い方を考える～

区では、区政への区民参加の仕組みづくりを進めています。その取組の一つとして、身近な行政課題について、区長と区民が直接意見交換をする区政を話し合う会「聴くオフ・ミーティング」を開催しています。令和4年度第4回は、「杉並区立学校の『給食無償化』を語り合おう！」をテーマに、一般公募と無作為抽出した2000名の区民の中から参加していただいた17名の方が、学校給食の無償化について話し合いました。

## 区長から

今回のテーマは学校給食ということで、私にとって思い入れの深いテーマです。皆さんと一緒に議論できることを楽しみにしていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

去年の選挙の時に、私は公立小中学校での給食の無償化を公約に掲げました。令和5年度の一般予算がついた先の議会で可決されましたが、その中にこの学校給食の無償化を含めることはできませんでした。区としては今までどおり、物価上昇に伴う給食費の値上げ分については、保護者の皆さんのサポートを続けていきます。

さて、私自身はオランダとベルギーで子育てをしました。食文化が全然違って、お昼のお弁当といっても、チョコレートを塗ったパンをお弁当箱に入れて終わりです。だから日本の給食は素晴らしいと思います。

いろいろなメニューを、栄養士さんがしっかり考えて、そしておいしくて、さらに日本の文化とか伝統とか食材とか、子供達に食べ方などを伝えていくという意味もあり、給食は教育の一環であると感じています。

今日は皆さんと、給食を通じた子供の成長や杉並区の未来を考えていきたいと思います。



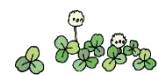
## 担当課からの説明

### ～杉並の教育費について～ <教育委員会庶務課>

例年、杉並区の予算の約10%が教育費の割合になっています。令和5年度の教育費（253億円）のうち、小中学校の校舎の改築等に85億円、1人1台専用タブレットの配布等の情報教育の推進に25億円、そして学校給食の推進に18億円となっています。

憲法で「義務教育は、これを無償にする」との定めがありますが、これは全てが無償化ということではありません。公立学校の授業料や教科書は無償ですが、それ以外には、保護者が負担している経費もあります。

区が行った調査で、区立学校でも学校教育や塾代を除き、小学校で約55,000円、中学校で113,000円かかっています。小学校では主に教科活動費、中学校では教科活動費の他に修学旅行などです。次に、就学援助制度ですが、経済的な理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者に対して学用品費や給食費など学校に必要な費用の一部を支給する制度で、所得制限があります。保護者を対象に行ったアンケートの結果、教育費のうち負担に感じる経費の調査では、習い事、被服等、学校給食費の順でした。また、区が税金で負担すべきと思うものは、学校教育で使う教材やタブレット端末、移動教室や修学旅行の経費、学校給食全額補助の順でした。



## ～学校給食について～ <学務課>



杉並区の学校給食は、次の7項目に配慮して毎月献立を作成しています。  
①杉並区の学校給食摂取基準及び標準食品構成の確保②安全・衛生への配慮  
③生きた教材になるように努める④季節感のある食品、地場産物の使用や日本の伝統的な献立の導入⑤児童・生徒の嗜好等⑥家庭で不足しがちな食品の使用（豆類、藻類等）⑦食単価への配慮。このように子どもたちが好きなものだけを出すのではなく、子どもたちに知ってほしい、食べてほしいものを学校給食に取り入れ、食べてもらえるよう工夫を重ねています。学校給食から、正しい食事とはどういうものかを学んで成長し、大人になっても引き続き

健全な食生活を送れることが一つの目標となっています。給食費については、学校給食法で施設費、設備費、修繕費、人件費を学校の設置者が負担し、光熱費、食材料費は保護者が負担と定められていますが、杉並区では光熱費も区の負担で、保護者負担は食材料費のみとなっています。なお、給食1食にかかる費用は約834円です。今日のテーマである杉並区が給食費を無償化した場合に係る費用は、総額16億6700万円余です。また、23区で給食無償化を実施予定としている区は、現在9区で、理由は、保護者の負担軽減、物価高騰による緊急支援策です。検討中が本区を含め5区で、実施予定なしが9区です。

### グループ トーク

グループトークの前半は、参加者全員が学校給食無償化に賛成意見を、後半は全員が反対意見をグループごとに出し合い、ホワイトボードに意見を貼って活発な意見交換を行いました。


区長も各班を回り、皆さんの出した意見へのコメントや対話を行いました。





# 全体 トーク


全体トークでは半円状の車座になり、参加者が一人ずつ自分の意見を発表した後、フリートークを行いました。以下は全体トークで出た主な意見です。




●参加者  私はどちらかと言えば反対です。保護者が負担しているのは食材費だけで、他は区に負担してもらっているので、自分の子供を食べさせるくらいはいいかと思いました。今とても杉並区の給食が良いので、それが無償化で冷凍食材の給食センターに代わるのが心配です。


●参加者  どちらかと言えば賛成です。ただし、令和3年度レベルの保護者の負担を極力上げないような努力を続けていただきたい。


●参加者  賛成です。なぜなら、小学生の親だからです。確かに無償化になるのは、親としては嬉しいですが皆さんのお話に出ているように、財源をどうするか、税金を使う以上、公平感はどうなのかというところを考えていくと、悩ましいです。

●参加者  給食無償化以外に学校には課題がたくさんあります。校舎が築70年の学校、先生の不足など。予算が足りないと言われて実現できていないものがたくさんある中で、給食が無償化されて、そこに財源が確保されるというのは反対です。




●参加者  やはり小中学校の子どもを持つ当事者としては、親子で安心して学校生活を送りたいです。給食は生きた教材だと思っていますので、どちらかと言えば賛成にしました。

●参加者  どちらかと言えば賛成です。子育てを社会全体で支えるには、やはり国が無償化するべきだと思います。国がやらないから自治体でできるところを担う、ただし、これはつなぎであって、無償化している自治体が協力して国に働きかけていく。それをしながら、当面の間は自治体が無償化を何とか頑張って支えるのがいいかなと思いました。

■区長  給食を無償化したら質が落ち、無償化しなければ質は落ちないのか。そこに相関性があるのか、私はないと思っていますが、皆さんはどう思いますか。

私、実は「公共食」というものを考えています。給食は公共食の一部なのです。病院とか介護施設だとか、保育園とかいろいろなところで「食」は関わっていて、それを自治体として調達する力があるという中で、経済とか農業とかサプライチェーンのあり方そのものをデザインしていくことができるのが公共食だと思っています。



●参加者  給食の無償化は、質の低下には結びつかないと思います。今、給食試食会という形で公開されていたりするので、それを継続することを条件にすれば、給食の質には関係しないと思います。

## ミーティングを終えて～区長から～

学校給食無償化の議論は、今後、国でも杉並区でも進んでいきますので、皆さん、ぜひ注視してください。

やはり、教育や給食の現場、子供たちの地域社会での様子を知っている皆様にこそ、無償化のみならず教育全体がどのように変わっていくのか、給食の質などについて、ぜひ関わり、注意し続けてほしいです。それによって質の低下などを避けられます。皆さんが関わっていくことが公共性や公共食の意義や意味なのだと思います。



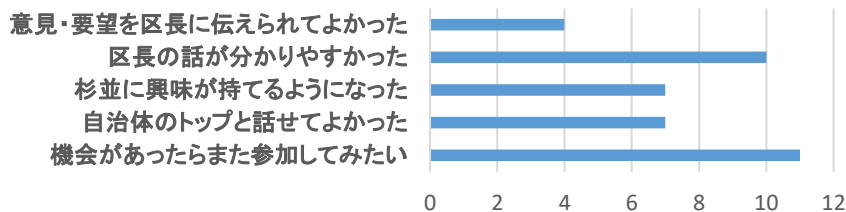
### 学校給食を所管する担当課から

学校給食は、児童・生徒に栄養バランスのとれた安全・安心な食事を提供することにより、心身の健全な発達を促すことを目的としています。さらに、食を通じて地域を知り、自然の恵みや勤労の大切さを理解するための生きた教材として重要な役割を担っています。

聴くオフ・ミーティングに参加された方々のご意見を聴き、学校給食の重要性を再認識したところです。また、児童・生徒のみならず保護者にとっても大きな関心があることがわかり、あらためて学校給食が持つ力の大きさを感じました。

この度は、給食の無償化につきまして皆さんから大変参考になる様々なご意見をいただき、ありがとうございました。

### 懇談会に参加した感想（複数回答有）



## 令和4年度 第4回 聴くオフ・ミーティング報告書

<開催日> 令和5年3月25日（土）

<参加者> 区民17名、区長、教育委員会事務局庶務課長・学務課長ほか

令和5年6月 編集・発行 総務部区政相談課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号 電話 03-3312-2111